

ヒグマ活動期 ガイドツアー枠の見直しについて

○協議経過

前回部会において、大グループと小グループツアーの受付・予約方法や枠数・時間間隔における課題を報告し、各種課題に対する意見を関係機関から以下の通りいただいた。

	大グループ課題と意見	小グループ課題と意見
枠数 ・ ツアー時間間隔	<ul style="list-style-type: none"> ● 枠数が少なく、利用機会が少ないことで利用ニーズに応えきれしていない <ul style="list-style-type: none"> ➢ 10時台のニーズが多いため20分間隔から10分間隔にしてほしい。 ➢ 11時台と12時台のニーズは少ない印象があるため、間隔を延ばして良い 	<ul style="list-style-type: none"> ● 枠数が少なく、利用機会が少ないことで利用ニーズに応えきれっていない <ul style="list-style-type: none"> ➢ 枠数を増やすということであれば、担い手不足が懸念される。 ➢ 大グループのように自立した運用体制を構築しないことには小グループの枠数を増やすことはできない ➢ 今後の多様なニーズに応えるためにも連続したツアーの枠を設定し、大・小グループの合流地点（二湖展望地）における混雑度合いを検証したい
受付 ・ 予約方法	—	<ul style="list-style-type: none"> ● 事前予約ができないことで当日までツアー参加の確約が取れず、計画的な旅程を立てることができない ● 担当引率者が輪番制となっており、外国人・妊婦・乳幼児の受入条件が担当引率者によって異なることで、利用形態が限定的となることがある <ul style="list-style-type: none"> ➢ 事前予約制が浸透すれば担い手問題も解決し得る ➢ 当日受付は救済措置となり得るが、事前にツアー予約が無い場合は当日にツアーが催行されない懸念がある ➢ 事前予約制にしたとしても担当引率者がいないことで予約ができないという事態を避けるため、輪番制を継続させたい

○協議結果を踏まえた改善方針等

	大グループツアー	小グループツアー
将来的な運用イメージ	A. さらなる利用機会の提供	a. 多様な利用ニーズへの対応 b. 安定的で自立的な運用（大グループとの整合・利用制度の統一化）
現行からの改善方針と検証事項	A. ツアースケジュールの見直し A-1 新規増設ツアー枠ニーズの有無 A-2 ツアー間隔変更に伴う利便性の変化	a. 事前予約制の導入 a-1 ニーズの有無（予約経路・利用形態・催行率等） b. ツアー枠数の増設 b-1 安全性、二湖展望地における静寂性等

○小ルートツアー造成試行事業

地上遊歩道の再整備に伴い小ルートコースの魅力が向上したことを契機に、多様なニーズ（高齢者、子供連れ等）に対応するため、地上歩道を短時間で回れる小ルートツアー枠の増枠を目指した試行事業を実施する。

具体的には、現行制度（1日最大500名（1日最大45ツアー）、1時間あたり7団体等）の限られた条件下で、最大限の影響の有無を検証するため、利用人数が多い団体利用による連続した小ルート試行ツアー等を催行し、大・小ルートの合流地点（二湖展望台）における静寂性の確保や同時滞在ツアー数増加に伴うヒグマ遭遇リスクの増加等の課題を検証する。なお、検証方法は必要に応じ見直しすることとする。

3年間の試行結果を踏まえ、2025年（次回の利用適正化計画見直し想定時期）を目処に、現行制度の変更の有無を検討する。

○2022年度 大・小ルートツアースケジュール

赤字：変更点					
	大ルート枠 (3km、3時間、事前予約制)	枠数	ツアー間隔	小ルート枠 (1.6km、1.5時間、 事前予約制) a-1	
				既設枠	試行枠
8時台	8:10、8:20、8:30、8:40、8:50	5枠	10分		
9時台	9:00、9:10、9:20、9:30、9:40、9:50 A-1	6枠	10分	9:00	
10時台	10:00、 10:10 、10:20、 10:30 、10:40、 10:50	6枠	10分		
11時台	11:00 、 11:30	2枠	30分	11:00	
12時台	12:00、 12:30 A-2	2枠	30分		
13時台	13:00、13:20、13:40、13:50	4枠	10分～20分	13:30	
14時台	14:00、14:10、14:20、14:30、14:40、14:50	6枠	10分		b-1
15時台	15:00、15:10、15:20、15:30	4枠	10分	15:30	15:40、15:50
16時台					16:00、16:10、16:20、16:30
		計35枠		計4枠	計6枠

○今後のスケジュール

承認された場合、2022年度の運用に向けた準備（システム改修、システムオープン日の周知、次年度ヒグマ活動期運用計画の周知など）を行う。